

事務連絡  
令和4年11月24日

各都道府県各種学校主管課  
日本インターナショナルスクール協議会 御中  
在日ブラジル学校協議会

文部科学省大臣官房国際課

オミクロン株対応ワクチンの接種に関する児童生徒や保護者への情報提供について

新型コロナウイルス感染症については、過去2年いずれも年末年始に感染が拡大しており、また、この秋・冬については、季節性インフルエンザとの同時流行が懸念されるところの専門家の指摘もあります。実際にも、現在、新型コロナウイルスの新規感染者数は全国的に増加傾向にあり、今後の動向を注視する必要があります。

こうしたことを踏まえ、政府においては、重症予防効果等が従来型ワクチンを上回るとともに、今後の変異株に対してもより有効であることが期待されているオミクロン株対応ワクチンについて、希望する全ての対象者が年内に接種を受けることができるよう、接種体制の確保や周知・広報に取り組んでいるところです。

現在、オミクロン株対応ワクチンは、初回接種（1・2回目接種）を完了した12歳以上の全ての者が接種対象となっており、小学校第6学年の一部の児童及び中学校以上の全ての生徒も対象となっています。

全てのワクチンの接種は強制ではなく、児童生徒については、本人や保護者の判断が尊重されるべきものですが、その判断に当たっては、接種対象の範囲、ワクチンの効果や副反応、接種に関する相談先の情報等について十分に周知されることが重要ですので、引き続き、地域の衛生主管部（局）の求めに応じて、周知・広報をよろしくお願いします。

特にこれまでの事務連絡においては、自治体等での取組の一例として、厚生労働省が作成したリーフレット等について、保護者が訪れやすい場所に据え置く、ホームページや校内ネットワークに掲載するといったことを挙げていますが、学校の教職員に過度な負担が生じないよう留意しつつ、地域の実情に応じた取組を進めていただくようお願いします。その際、衛生主管部（局）において、児童生徒や保護者が接種に関する相談先の情報等を取得できるよう、厚生労働省が作成したリーフレット等について、地域の相談先を明記するなど必要な編集を行った上で活用することを御検討ください。

そのほか、児童生徒に対する新型コロナワクチンの接種に係る考え方及び留意点等については、「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の幼児児童生徒に対する実施についての学校等における考え方及び留意点等について」（令和4年9月12日付け事務連絡）において、お知らせしたとおりですので、必要に応じて御参照ください。

今般の新型コロナウイルス感染症に際して必要な対応について適切に御判断いただくための参考資料としていただけますと幸いです。

各都道府県各種学校主管課におかれては、所轄の各種学校のうち外国人学校に対して周知くださいますようお願いいたします。

日本インターナショナルスクール協議会及び在日ブラジル学校協議会におかれては、加盟校に対して周知くださいますようお願いいたします。

## 【参考資料】

### ○厚生労働省作成リーフレット

- ・[【第1報】オミクロン株対応2価ワクチン接種のお知らせ](#)

(内容) オミクロン株対応2価ワクチンの接種が開始したこと、接種対象や接種開始時期、その効果や安全性等を説明

- ・[【第2報】オミクロン株対応2価ワクチンの種類が増えました \(Ver. 2\)](#)

(内容) BA.1 対応型か BA.4・5 対応型のいずれか早く打てるワクチンで接種してほしいことを呼びかけ

- ・[【第3報】接種可能な間隔が3か月になりました](#)

(内容) オミクロン株対応2価ワクチンの接種可能な間隔が3か月となったことも踏まえ、年内の接種を呼びかけ

### ○政府インターネットテレビ

- ・[新型コロナウイルス対策「2価ワクチン」篇](#)

(内容) オミクロン株対応2価ワクチンの年内接種のお願いをする動画

- ・[ねお×木下先生「新しいコロナワクチンのこと聞いてみた」](#)

(内容) オミクロン株対応2価ワクチンのメリット等について、モデル／動画クリエイターのねおさんが、専門家である木下喬弘先生に聞く動画

### ○[\(医師向け\) 新型コロナウイルスオミクロン株対応ワクチンについての最近の動向](#)

(厚生労働省)

(内容) オミクロン株対応2価ワクチンの接種体制、種類とその特徴、有効性、諸外国の状況等について最近の動向を紹介する動画。

### ○[新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の幼児児童生徒に対する実施についての学校](#)

等における考え方及び留意点等について（令和４年９月１２日付け事務連絡）

（内容）新型コロナワクチンの接種に関する学校等における考え方及び留意点等

（本件連絡先）

文部科学省大臣官房国際課

国際協力企画室 外国人教育政策企画係

Tel：03-5253-4111（内線 3222）

Fax：03-5253-3669

E-mail：[kokusai@mext.go.jp](mailto:kokusai@mext.go.jp)

(Tentative translation)  
International Affairs Division, Minister's Secretariat  
Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT)

November 24, 2022

Attn: Prefectural miscellaneous category school departments,  
Japan Council of International Schools (JCIS),  
Association of Brazilian Schools in Japan (AEBJ)

Information for Students and Parents regarding Vaccinations against the Omicron Variant

For the last two years, COVID-19 infections have spread at the end of the year and the beginning of the new year, and, moreover, experts have warned of concurrent spread of COVID-19 and seasonal influenza this autumn and winter. In fact, the number of new cases of COVID-19 infection is currently increasing nationwide, and future trends must be closely monitored.

Therefore, the government is working to ensure the vaccination system and publicize the Omicron-adapted vaccine, which is expected to be more effective than the conventional vaccine in preventing serious illnesses and also more effective against future mutant variants, so that all eligible persons who want to receive the vaccine can be vaccinated by the end of this year.

Currently, the Omicron-adapted vaccine is available to all persons over the age of 12 who have completed the initial vaccination (1<sup>st</sup> and 2<sup>nd</sup> inoculation), including some children in the 6<sup>th</sup> grade of elementary school and all students in junior high school and above.

However, all vaccinations are not compulsory, and the decisions of children and their parents should be respected, so it is important to inform them fully of the scope of vaccination coverage, the effects and adverse reactions of the vaccine, and information on where to consult regarding the vaccination. Therefore, we would like to ask you to continue to publicize and promote the vaccine in accordance with the requests of the local health authorities in your area.

In particular, the previous administrative notifications have cited examples of efforts by local governments, such as placing leaflets and other materials prepared by the Ministry of Health, Labour and Welfare (MHLW) where parents easily visit, and posting them on websites and school networks. In this case, please take care not to place an excessive burden on school teachers and staff, and proceed with initiatives according to the local situation. Moreover, please consider using these leaflets after making necessary edits, such as specifying local consultation offices, so that children and their parents can obtain information on where to consult about vaccination.

In addition, regarding the concept and points to keep in mind concerning the vaccination of children with the COVID-19 vaccine, please refer to the administrative notification "Points

regarding the Implementation of Vaccinations for Infants and Children against COVID-19 Infections in Schools (Administrative Notification dated September 12, 2022, International Affairs Division, Minister's Secretariat, MEXT)" as necessary.

We are sharing this announcement with you with the hope that it will be utilized as a reference for your consideration of your responses to COVID-19.

To Prefectural miscellaneous category school departments: Please send this notification to the miscellaneous schools for foreign students under your jurisdiction.

To JCIS and AEBJ: Please send this notification to members of your council or association.

## 【Reference】

○Leaflet prepared by the Ministry of Health, Labour and Welfare (MHLW)

- [1<sup>st</sup> issuance: Notice of Vaccination with Omicron-adapted Bivalent Vaccine](#) (in Japanese)  
(Content) Explanation of the start of inoculation with the Omicron variant-compatible bivalent vaccine, the target population and start date of inoculation, its effectiveness and safety, etc.
- [2<sup>nd</sup> issuance: 2<sup>nd</sup> Bivalent Vaccine against the Omicron Variant \(Ver. 2\)](#) (in Japanese)  
(Content) Calls for vaccination with either the BA.1-compatible type or the BA.4-5-compatible type, whichever can be administered earlier.
- [3<sup>rd</sup> issuance: Shortening of Dosage Interval to Three Months](#) (in Japanese)  
(Content) Calls for vaccination before the end of the year, taking into consideration that the interval between possible inoculations with the Omicron -adapted bivalent vaccine is now three months.

○Government Internet TV

- [Countermeasures against COVID-19 –“Bivalent Vaccine”](#) (in Japanese)  
(Content) Video calling for vaccination with bivalent vaccine against Omicron variant by the end of the year.
- [Neo x Dr. Kinoshita, “Asking about the New COVID-19 Vaccine”](#) (in Japanese)  
(Content) Video of model/video creator Neo asking expert Dr. Takahiro Kinoshita about the merits of the Omicron -adapted bivalent vaccine, etc.

○[\(For doctors\) Recent trends in vaccines against omicron variant of COVID-19 \(MHLW\)](#) (in Japanese)

(Contents) Video introducing recent trends in the vaccination system, types and characteristics, their efficacy, and the situation in other countries of bivalent vaccines against omicron variants.

○[Points regarding the Implementation of Vaccinations for Infants and Children against COVID-19 Infections in Schools \(Administrative Notification dated September 12, 2022, International Affairs Division, Minister's Secretariat, MEXT\)](#)

(Content) Ideas and points to keep in mind at schools, etc. concerning vaccination against COVID-19 infection

[Contact]

Office for International Cooperation Planning, International Affairs Division,  
Minister's Secretariat,

Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT)

Tel: 03-5253-4111 (Ext: 3222), Fax: 03-5253-3669, E-mail: [kokusai@mext.go.jp](mailto:kokusai@mext.go.jp)

本事務連絡は、児童生徒や保護者が主体的に接種の判断ができるよう、オミクロン株対応ワクチンの接種に関し、衛生主管部（局）と教育委員会等が連携して、児童生徒や保護者への周知・広報を実施することを依頼するものです。

事 務 連 絡  
令和4年11月18日

各都道府県・指定都市教育委員会担当課  
各都道府県教育委員会専修学校主管課  
各都道府県私立学校主管部課  
附属学校を置く各国公立大学法人附属学校事務主管課  
各文部科学大臣所轄学校法人担当課  
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた  
各地方公共団体の学校設置会社担当課  
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課  
各都道府県・市町村・特別区衛生主管部（局）

御中

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課  
厚生労働省健康局予防接種担当参事官室

オミクロン株対応ワクチンの接種に関する児童生徒や保護者への情報提供について

新型コロナウイルス感染症については、過去2年いずれも年末年始に感染が拡大しており、また、この秋・冬については、季節性インフルエンザとの同時流行が懸念されるとの専門家の指摘もあります。実際にも、現在、新型コロナウイルスの新規感染者数は全国的に増加傾向にあり、今後の動向を注視する必要があります。

こうしたことを踏まえ、政府においては、重症予防効果等が従来型ワクチンを上回るとともに、今後の変異株に対してもより有効であることが期待されているオミクロン株対応ワクチンについて、希望する全ての対象者が年内に接種を受けることができるよう、接種体制の確保や周知・広報に取り組んでいるところです。

現在、オミクロン株対応ワクチンは、初回接種（1・2回目接種）を完了した12歳以上の全ての者が接種対象となっており、小学校第6学年の一部の児童及び中学校以上の全ての生徒も対象となっています。

全てのワクチンの接種は強制ではなく、児童生徒については、本人や保護者の判断が尊重されるべきものですが、その判断に当たっては、接種対象の範囲、ワクチンの効果や副反応、接種に関する相談先の情報等について十分に周知されることが重要ですので、引き続き、地域の衛生主管部（局）と教育委員会等が連携した周知・広報をよろしく願います。

特にこれまでの事務連絡においては、自治体等での取組の一例として、厚生労働省が作成したリーフレット等について、学校や社会教育施設等の保護者が訪れやすい場所に据え置く、教育委員会・学校等のホームページや校内ネットワークに掲載するといったことを挙げていますが、これらのほか、例えば、山梨県においては、5歳から11歳までを対象にした小児接種に係る取組となりますが、知事部局と教育委員会が連携し、各市町村の教育委員会単位や単独又は複数の学校単位で、小学校の学校医等が保護者に説明する機会を設けるといった取組を進めることとされており、他の地域においても、こういった事例も参考にしながら、衛生主管部（局）と教育委員会等が連携し、学校の教職員に過度な負担が生じないように留意しつつ、地域の実情に応じた取組を進めていただくようお願いします。

その際、衛生主管部（局）において、児童生徒や保護者が接種に関する相談先の情報等を取得できるよう、厚生労働省が作成したリーフレット等について、地域の相談先を明記するなど必要な編集を行った上で活用することを御検討ください。

#### **【参考】衛生主管部（局）と教育委員会等の連携による取組として考えられる例**

- 衛生主管部（局）が主催する説明会等に、教育委員会等が協力（保護者への周知・案内、学校施設の利用等）
- 衛生主管部（局）及び教育委員会等から学校医等（医師会）に依頼し、学校医等から保護者への説明の機会を提供（必要に応じて学校も協力）
- 学校からのお知らせや保護者向けメールマガジン等に、地域の保健所長や小児科医等のメッセージを掲載

そのほか、児童生徒に対する新型コロナワクチンの接種に係る考え方及び留意点等については、「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の幼児児童生徒に対する実施についての学校等における考え方及び留意点等について」（令和4年9月6日付け事務連絡）1から4までにおいて、お知らせしたとおりですので、必要に応じて御参照ください。

以上について、都道府県・指定都市教育委員会担当課におかれては所管の学校等及び域内の市（指定都市を除く。）区町村教育委員会に対して、都道府県私立学校主管部課におかれては所轄の学校法人等を通じてその設置する学校に対して、国公立大学法人附属学校事務主管課におかれてはその設置する附属学校に対して、文部科学大臣所轄学校法人担当課におかれてはその設置する学校に対して、構造改革特別区域法（平成14年法律第189号）第12条第1項の認定を受けた地方公共団体の学校設置会社担当課におかれては所轄の学校設置会社及び学校に対して、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課におかれては所管の高等課程を置く専修学校に対して、本件を周知されるようお願いします。

以上



## 【参考資料】

### ○厚生労働省作成リーフレット

- ・[【第1報】オミクロン株対応2価ワクチン接種のお知らせ](#)

(内容) オミクロン株対応2価ワクチンの接種が開始したこと、接種対象や接種開始時期、その効果や安全性等を説明

- ・[【第2報】オミクロン株対応2価ワクチンの種類が増えました \(Ver. 2\)](#)

(内容) BA.1 対応型か BA.4-5 対応型のいずれか早く打てるワクチンで接種してほしいことを呼びかけ

- ・[【第3報】接種可能な間隔が3か月になりました](#)

(内容) オミクロン株対応2価ワクチンの接種可能な間隔が3か月となったことも踏まえ、年内の接種を呼びかけ

### ○政府インターネットテレビ

- ・[新型コロナウイルス対策「2価ワクチン」篇](#)

(内容) オミクロン株対応2価ワクチンの年内接種のお願いする動画

- ・[ねお×木下先生「新しいコロナワクチンのこと聞いてみた」](#)

(内容) オミクロン株対応2価ワクチンのメリット等について、モデル／動画クリエイターのねおさんが、専門家である木下喬弘先生聞く動画

### ○[\(医師向け\) 新型コロナウイルスオミクロン株対応ワクチンについての最近の動向](#)

(厚生労働省)

(内容) オミクロン株対応2価ワクチンの接種体制、種類とその特徴、有効性、諸外国の状況等について最近の動向を紹介する動画。

### ○[新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の幼児児童生徒に対する実施についての学校等における考え方及び留意点等について \(令和4年9月6日付け事務連絡\)](#)

(内容) 新型コロナワクチンの接種に関する学校等における考え方及び留意点等

<本件連絡先>

文部科学省

初等中等教育局 健康教育・食育課

03-5253-4111(内2918)

厚生労働省

健康局 予防接種担当参事官室

自治体サポートチームメールアドレス